



## ヴェネツィア・ビエンナーレを彩る 第76回ヴェネツィア国際映画祭で ジャガー・ルクルトが奏でる映画讃歌

ヴェネツィア、2019年8月30日 - 魔法の都ヴェネツィアで、ジャガー・ルクルトは、ゴージャスにセッティングされたグラナイ・ディ・チプリアーニにおいて、心地良い雰囲気でのディナーを主催し、ヴェネツィア国際映画祭とのパートナーシップ15周年を祝いました。

アドリア海のラグーンのかなたにサン・マルコ広場を望む絶景が広がる、海と空の間に位置するジュデッカ島の、まるでおとぎ話の世界のようなロケーションが、今年、スイスを代表するウォッチブランド ジャガー・ルクルトが選んだ「天空」のテーマを見事に表現していました。人類が時間を計測する方法を常に定めてきた星と惑星にオマージュを捧げる天空のテーマはまた、ジャガー・ルクルト発祥の地、スイスのジュウ渓谷の夜空を彩る満天の星への愛情あふれるトリビュートとも言えます。

ジャガー・ルクルト CEO のカトリーヌ・レニエがホストを務めたディナーでは、世界中から招待されたゲストに、フレンド・オブ・ブランドのニコラス・ホルト、アマンダ・セイフライド、ニー・ニー（倪妮）、イタリア女優のアレッサンドラ・マストロナルディが加わり、素晴らしき映画の世界に敬意を表すとともに、時の芸術が称えられました。

魅力あふれる洗練された雰囲気の中で披露されたのは、夜空の星からインスピレーションを得た優美な4つの新作モデル。フルにダイヤモンドがセットされ美しく煌めく「ダズリング・ランデヴー・ムーン」は、氷のように輝くダイヤモンドにピンクゴールドの温かさとマザー・オブ・パールの光沢が組み合わせられ、ホワイトダイヤモンドをふんだんにセットした豪華なブレスレットが、まるでリボンのようにしなやかにやさしく手首を飾ります。また、この世のものとは思えないほどのオーロラ的美しさからインスピレーションを得た傑作「ランデヴー・セレスティアル」の2つの新作モデルは、メティエ・ルール® と名付けられたジャガー・ルクルトならではのジュエリーセッティングの技と、ハンドペイントの2種類の職人技が融合しています。オーロラのはかなさを思わせる、ハンドペイントが施されたマザー・オブ・パールのダイヤルの周りを、グラデーションを描くバゲットカットのサファイアが煌めくベゼルで囲んでいます。



さらに、ジャガー・ルクルトは今回、「マスター・グランド・トラディション・トゥールビヨン・セレスト」もリニューアル。流れるようなラインを描く新世代ケースとさりげなく上品さを香らせるダイヤルが印象的です。一見するとシンプルになったように見えるダイヤルは、実際には、スーパールミノヴァ™ が塗布されることで新たな魅力が加わり、天空の輝きを放つアワーマーカーと鈍く光る星座を表しています。

映画と高級時計製造の技とを祝う特別な機会のために、パリにあるレストラン ル・サンクの三つ星シェフ、クリスチャン・ル＝スケーをヴェネツィアに招き、天空をテーマにセッティングの美を捉えたスペシャルメニューに腕を振るってもらいました。

映画製作の技と多くの価値観を共有することで、ジャガー・ルクルトは映画界と深く関わり合い、ヴェネツィア国際映画祭との長年のパートナーシップを通して、映画芸術に対する正しい理解とその発展に貢献できることを誇りとしています。

---

## ジャガー・ルクルト

創設以来、ジャガー・ルクルトは正確さを完全な芸術へと昇華させ、高度なサヴォアフェール（ノウハウ）と芸術的センス、精密化と精巧な外観美の完璧な均衡を見出しました。1833年より培われた発明精神に忠実に、マニュファクチュールの職人たちは最先端の高級時計コレクションを創造しています。レベルソ、マスター、ランデヴー、そしてアトモス…。グランド・メゾンとして名高いジャガー・ルクルトが時の流れとともに築き上げた豊かな遺産は、絶え間ないインスピレーションの源となり、前例のないタイムピースを生み出すことで、時計製造の限界を押し広げていきます。